

## 参考文献

- ・阿部義明 1990『英字新聞を読むための表現辞典』語学春秋社
- ・安達隆一 1987『構文的文章論』和泉社
- ・ADOMONI, W. 1960 "Der deutsche Sprschbau. 1. Aufl" Leningrad
- ・AMISIMOVA, T.I. & IVANOVA, Z.E. & UL' JANKO, R.V. 1975 "Posobie po leksicheskoj sochetaemosti solv russkogo jazyka, Slovar' - spravochnik" Minsk
- ・ANDERSON, J.M. 1977 "On Case Grammar: Prolegomena to Theory of Grammatical Relations" Croom Helm  
1986 'Structural analogy and case grammar' "Lingua 70"
- ・安藤貞雄 1993『生成文法講義』北星堂書店
- ・青山文啓 1989『日本語表現の方法』東海大学出版社
- ・BRINKMANN, H. 1962 "Die deutsche Sprache. Gestalt und Leistung"  
Düsseldorf
- ・BÜHLER, K. 1934 "Sprach theorie Die Darstellungs function der Sprache" Jena
- ・BUSSE, Winfride et DUBOST, Jean-Piere 1977 "Französisches Verblexikon, Die Konstruktion der Verben im Französischen" Kletta-Cotta
- ・蔡 茂豊 1972a『現代日語文的句法』台湾一文出版社  
1972b『現代実用日語文』台湾大新書局  
1980『日本語読本』台湾東吳大学日本語学科
- ・曹 逢甫 1993『応用語言学的探索』台湾文鶴出版社
- ・DENISOV, P.N. & MORKOVKIN, V.V. 1975 "Uchevnyj slovar' sochetaemosti slov russkogo jazyka" Moskva
- ・DUBOIS, J. 1979 "Dictionnaire du français ,Langue étrangère Niveau 2" Larousse
- ・ENGEL, Ulrich et SCHUMACHER, Helmet 1976 "Kleines Valenzlexikon deutscher Verben" Gunter Narr Verlag, Tübingen
- ・ENGELN, Bernhard 1975 "Untersuchungen zu Satzbauplan und Wortfeld in der geschriebenen deutschen Sprache der Gegenwart" Teilband 1,2  
Max Hueber Verlag, München

- ・ ERBEN J. 1958 "Abriß der deutschen Grammatik" Berlin
- ・ 藤田保幸 1983 「文中引用句『～カ(ドウカ)』の述部に対する関係構成」『日本語学』2月号、明治書院  
1986 「文中引用句『ト』による『引用』を整理する」宮地裕編『論集 日本語研究(一)現代篇』明治書院
- 1987 「『疑う』ということ——『引用』の視点から」『日本語学』11月号、明治書院
- 1988 「『引用論』の視界」『日本語学』6月号、明治書院
- 1989 「『引用』のくぎり方」『日本語学』6月号、明治書院
- ・ FILMORE, Charles J. 1969 "TOWARD A MODERN THEROY OF CASE&OTHER ARTICLES" Holt, Rinehart and Winston (田中春美・船城道雄訳1975『格文法の原理』三省堂)
- ・ de GROOT, A. W. 1949 "Structurele Syntaxis" Den Haag
- ・ GROSS, Maurice 1975 "Methodes en syntaxe, Regime des constructions completives" Hermann, Paris
- ・ 郡司隆男 1988 『言語科学への招待』丸善株式会社
- ・ 林 四郎 1960 『基本文型の研究』明治図書  
1973 『文の姿勢の研究』明治図書
- ・ 林史典・金子博・鶴岡昭夫・教育技術研究所編 1986 『国語基本用例辞典』教育社
- ・ 林史典・鶴岡昭夫編 1992 『15万例文・成句 現代国語用例辞典』教育社
- ・ 早津恵美子 1989a 「有対他動詞と無対他動詞の違いについて」『言語研究 95』  
1989b 「有対他動詞と無対他動詞の意味上の分布」『計量国語学 16-8』  
1990 「有対他動詞の受け身表現について」『日本語学』5月号、明治書院  
1995 「使役表現における使役対象の表され方と動詞の自他」『窪田富男先生退官記念論文集』専門教育出版
- ・ HELBIG, G. 1970 "Geschichte der neueren Sprachwissenschaft" VEB, Leipzig (岩崎英二郎・早川東三・千石喬・三城満禰・川島淳夫訳1973『近代言語学史』白水社)
- ・ HELBIG, G. et BUSCHA, J. 1988 "Kurze deutsche Grammtik für Ausländer" VEB,

Leipzig(在間進・洞沢伸訳 1993『G.ヘルビヒ & J.ブッシャ新・ドイツ語ハンドブック』第三書房)

- ・ HELBIG, G. et SCHENKEL, W. 1968 “Wörterbuch zur Valenz und Distribution deutscher Verben” VEB, Leipzig
- ・ 飛田良文 1983 『日本大語誌』の考え方 『日本語学』6月号、明治書院
- ・ 本田勝一 1982 『日本語作文の技術』朝日新聞社
- ・ HONG, Chaesong (洪在星) 1997 “Hyōndae Han’gugō t’ongsa kumun sajōn(現代韓国語動詞構文辞典)” 韓国 Tong’ atusang 出版社
- ・ 洪 恩満 1980 『国語特殊助詞——意味分析』韓国学文社
- ・ HORNBY, A.S. 1954 “A Guide to Patterns and Usage in English” Oxford Univ. (伊藤健三訳 1977 『英語の型と語法』オックスフォード出版局)  
1948 (初版)・1996 (第5版) “Oxford Advanced Learner’s Dictionary Current English” Oxford Univ.
- ・ 市川繁治一郎 1995 『新編英和活用大辞典』研究社
- ・ 稲田俊明 1989 『(新英文法選書3) 補文の構造』大修館書店
- ・ 井上和子 1976a 『変形文法と日本語(上)』大修館書店  
1976b 『変形文法と日本語(下)』大修館書店  
1982 「語彙の文法」 『言語』12月号、大修館書店  
1983 「条件を表す接続形式」 『日本語の基本構造』三省堂
- ・ 井上和子編 1989 『日本文法小辞典』大修館書店
- ・ 石綿敏雄 1968 「言語の意味と言語情報処理」 『電子計算機による国語研究』秀英出版  
1969 「構文解析自動化の研究」 『電子計算機による国語研究Ⅱ』秀英出版  
1972 「助詞『に』を含む動詞句の構造」 『電子計算機による国語研究Ⅵ』秀英出版  
1973 「小さい文型」 『講座日本語教育9』早稲田大学  
1974 「日本語の生成語彙論的記述と言語処理への応用」 『電子計算機による国語研究Ⅶ』秀英出版  
1978a 「コンピュータと言語」 『岩波講座日本語別巻』岩波書店  
1978b 「フィルモアの最近理論をめぐって」 『計量国語学 11 [5]』  
1981 「カ・エ・ゾンマーフェルト: 結合価を考慮した語彙の分類」 『計量国語

学 13 [2]』

1982 「アプレシヤン・メルチュク・ジョルコフスキー：意味論と語彙記述」『計量国語学 13 [5]』

1983a 「日本語表現の特色」『運用Ⅱ・人文系研究のための言語データ処理入門』朝倉書店

1983b 「内容・表現モデルによる対照研究」『日・仏語の対照言語学的研究論集』国立国語研究所

1987 「日欧語表現比較《人間中心》」水谷静夫教授還暦記念会編『計量国語学と日本語処理の理論と応用』秋山書店

- ・石綿敏雄・荻野孝野 1983 「結合価から見た日本文法」『文法と意味Ⅰ』朝倉書店
- ・石綿敏雄・高田誠 1990 『対照言語学』桜楓社
- ・糸井通浩 1985 「文章論的文体論」『日本語学』2月号、明治書院
- ・伊藤博子 1991 『朝日新聞で日本を読む』くろしお出版
- ・楊人從 1986 『韓語語法』私家版
- ・情報処理振興事業協会 1987 『計算機用日本語基本動詞辞書 IPAL (Basic Verbs) 辞書編と解説編』
- 1990 『計算機日本語基本形容詞辞書 IPAL (Basic Adjectives) 辞書編と解説編』
- 1996 『計算機日本語基本名詞辞書 IPAL (Basic Nouns) 辞書編と解説編』
- ・ JOSEPHS, L. 1972 'Phenomena of Tense and Aspect in Japanese Relative Clauses  
"Langue No.48-1"
- ・権島忠夫 1980 『文章構成法』講談社現代新書
- ・亀井孝・河野六郎・千野栄一編 1996 『言語学大辞典第6巻 術語編』三省堂
- ・神尾昭雄 1990 『情報網張り理論』大修館書店
- ・紙谷栄治 1989 「テンスとアスペクト」『日本語の文法・文体(上)』明治書院
- ・菅野裕臣 1987 『東京外国語大学講義資料』(未公刊)
- 1990 『動詞アスペクトについて(Ⅰ)』学習院大学東洋文化研究所調査研究報告 No.29
- 1992 『動詞アスペクトについて(Ⅱ)』学習院大学東洋文化研究所調査研究報告 No.35

- 1993 「朝鮮語単語結合辞典作製のために——ロシア語連語論の場合を参考に——」朝鮮語研究会第 95 回例会発表
- 1995 「朝鮮語語彙クラスをめぐる」『朝鮮文化研究2』東京大学文学部
- 1997 「現代朝鮮語の研究(文法)」『日本語と外国語との対照研究IV 日本語と朝鮮語』国立国語研究所
- ・加藤 弘 1989 「補文をとる述語についての覚え書き」『日本語学校論集 16 号』東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- ・勝俣銓吉郎 1939・1958 『新英和活用大辞典』研究社
- ・川端善明 1986 「格と格助詞とその組織」宮地裕編『論集 日本語研究(一)現代篇』明治書院
- ・川本茂雄 1974 「アンダーンの『格文法』」『言語』5月号、大修館書店
- 1983 「日仏両語における主語」『日・仏語の対照言語学的研究論集』国立国語研究所
- ・風間喜代三・上野善道・松村一登・町田健 1993 『言語学』東京大学出版社
- ・紙谷栄治 1985 「テンスとアスペクト」『日本語の文法・文体(上)』明治書院
- ・金田一春彦『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
- ・KIT 教材開発グループ編 1986 『外国人のための新聞の見方・読み方II 文章編』凡人社
- ・北原保雄 1971 『日本語の文法』中央公論
- 1981 『日本語助動詞の研究』大修館書店
- ・児玉徳美 1987a 『依存文法の研究』研究社
- 1987b 『語順の普遍性』山口書店
- 1991 『言語のしくみ——意味と形の統合』大修館書店
- ・小泉保・船城道雄・本田昌治・仁田義雄・塚本秀樹編 1989 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店
- ・小泉 保 1990 『言外の言語学——日本語語用論』三省堂
- 1993 『日本語教師のための言語学入門』大修館書店
- 1994 『「Xバー理論」批評』『言語』7月号、大修館書店
- ・国立国語研究所編 1951 『現代語の助詞・助動詞——用例と実例』秀英出版
- ・国立国語研究所編 1960 『話しことばの文型(1)』秀英出版

1963『話しことばの文型(2)』秀英出版

- ・国立国語研究所編 1971『動詞・形容詞問題語用例集』秀英出版
- ・国立国語研究所編 1982『日本語教育基本語彙七種 比較対照表』秀英出版
- ・近藤達夫 1989「記述的統語論」崎山理編『講座日本語と日本教育第 11 卷 言語学要説(上)』明治書院
- ・小西友七 1980『英語基本動詞辞典』研究社  
1988『ジーニアス英語辞典』大修館書店
- ・小坂光一 1992『応用言語科学としての日独語対照研究』同人社
- ・香坂順一 1988『中国語関連語辞典』光生館
- ・国広哲弥 1982a「テンス・アスペクト——日本語と英語」『外国語との対照』明治書院
- ・国広哲弥編 1982b『ことばの意味 3 ——辞書にかいていないこと』平凡社
- ・久野 暁 1973『日本文法研究』大修館書店  
1983『新日本文法研究』大修館書店
- ・倉持保男 1986「日本語教育における類義語の指導」『日本語学』9月号、明治書院
- ・草薙 裕 1983「テンス・アスペクトの文法と意味」『文法と意味 I』朝倉書店
- ・ LEVIN, B. 1993 "English Verb Classes and Alternations" The University of Chicago Press
- ・ LI, Charles N. & THOMPSON, Sandra A. 1976 'Subject and Topic: A new typology of language' In LI (ed.)
- ・林杏光・王玲玲・魯川・宙定編 1994『動詞大詞典』中国物資出版社
- ・町田 健 1989『日本語の時制とアスペクト』アルク出版
- ・牧野成一・畑佐由紀子 1989『外国人のための日本語例文・問題シリーズ 18 読解 拡大文節の認知』荒竹出版
- ・益岡隆志 1984「記述性補足語と認識動詞構文」『日本語学』7月号、明治書院  
1987『命題の文法』くろしお出版  
1991『モダリティーの文法』くろしお出版
- ・益岡隆志・窪田行則 1992『基礎日本語文法——改訂版』くろしお出版
- ・松林竹雄 1973『新聞文章論序説』八千代出版
- ・松本泰文編 1978『日本語研究の方法』むぎ書房
- ・松村明編 1969『助詞助動詞詳説』学燈社

- ・松下大三郎 1928『改撰標準日本文法』中文館
- ・松村瑞子 1993「日本語時制と省略性」『言語学からの眺望』九州大学出版会
- ・MEL'ČUK, I. et al 1984・1988・1993“Dictionnaire explicatif et combinatoire du français contemporain, Recherches lexico-semanticques I, II, III”  
Press de l'Universite de Montreal
- ・三原健一 1992『時制解釈と統語現象』くろしお出版  
1994『日本語の統語構造』松柏社
- ・三上 章 1959『統・現代語法——主語廃止論』くろしお出版  
1960『象は鼻が長い』くろしお出版  
1963『日本語の論理』くろしお出版  
1970『文法小論集』くろしお出版  
1972『現代語法序説』くろしお出版
- ・南不二男 1974『現代日本語の構造』大修館書店  
1994『現代日本語文法の輪郭』大修館書店
- ・三尾 砂 1948『国語文章論』三省堂
- ・三浦つとむ 1976『日本語はどういう言語か』講談社
- ・宮地 裕 1979『新版 文論』明治書院  
1986『慣用句の意味と用法』明治書院
- ・宮島達夫 1972『動詞の意味用法の記述的研究』秀英出版  
1986「格支配の量的側面」宮地裕編『論集 日本語研究(一)現代編』明治書院  
1997a「わすられた文法書『動詞教授資料』」『東京大学国語研究室創設百年記念国語研究論集』汲古書院  
1997b「『動詞教授資料』の結合価研究」言語学研究会編『ことばの科学 8』むぎ書房
- ・水谷静夫 1982『数理言語学』培風館  
1983『語彙』朝倉書店
- ・望月奈良江・熊倉千之 1987「日本の近代小説における語り手の視点」『日本語学』11月号、明治書院
- ・森田良行 1977『基礎日本語1』角川書店

- 1980『基礎日本語2』角川書店  
1984『基礎日本語3』角川書店  
1985『誤用文の分析と研究——日本語学への提言』明治書院  
1989『基礎日本語辞典』角川辞典  
1994『動詞の意味論的文法研究』明治書院
- ・森山卓郎 1988『日本語動詞述語文の研究』明治書院
  - ・村木新次郎 1991『日本語動詞の諸相』ひつじ書房
  - ・牟 世鐘 1993「発見・想い出しにおける『ル』形と『タ』形」『日本語学』2月号、明治書院
  - ・長島達也 1983『日本文法ハンドブック』パナリング出版
  - ・中島文雄 1987『日本語の構造』岩波書店
  - ・中村捷・金子義明・菊池朗 1989『生成文法の基礎』研究出版社
  - ・中右 実 1980「テンス・アスペクトの比較」国広哲弥編『日英語比較講座第2巻 文法』大修館書店  
1988「『簡約日本語』を問う」『日本語学』9月号、明治書院  
1994『認知意味論の原理』大修館書店
  - ・中山真彦 1988「物語と物語文——日本語・フランス語の対比」『文学56』8月号
  - ・成田 節 1994「補足成分と添加成分の区別をめぐる」『大阪市立大学文学紀要 人文研究第46巻』
  - ・成田敏男 1982「格をめぐる」『ソフトウェア文書のための日本語処理研究1』情報処理振興事業協会
  - ・根本今朝男 1965「が格の名詞と形容詞のくみあわせ」『言語の研究2』秀英出版
  - ・新川 忠 1979「副詞と動詞のくみあわせ試論」『言語の研究』むぎ書房
  - ・西尾寅弥 1972『形容詞の意味用法の記述的研究』秀英出版
  - ・野田時寛 1988「『名詞句+は』の用法——『主題』と『対照』について」『日本語学校論集15号』東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
  - ・新田春夫 1994-1995「結合価理論から見た日本語文型」『言語情報科学専攻紀要 言語・情報・テキスト第2巻』東京大学大学院総合文化研究科
  - ・仁田義雄 1975「形容詞の結合価」『文芸研究79』  
1980『語彙的統語論』明治書院



- 1992 「ヴォイス・アスペクト・テンス」『日本語学を学ぶ人のために』世界思想社
- 1993 「日本語の格を求めて」『日本語の格をめぐって』くろしお出版
- 1994 『日本語文法概要』私家版
- ・小川昌子 1985 「トキ構文の意味研究——アスペクトとトキ構文の時間関係」『日本語学』2月号、明治書院
- ・岡本千万太郎 1937 「基礎文型の研究」『国語教育』
- ・奥田靖雄 1973 「言語の単位としての連語」『日本語研究の方法』むぎ書房
- 1978 「アスペクトの研究をめぐって(上・下)」『教育国語 53・54』むぎ書房
- 1983 「を格の名詞と動詞とのくみあわせ」・「を格のかたちをとる名詞と動詞とのくみあわせ」・「に格の名詞と動詞とのくみあわせ」言語学研究会編『日本語文法・連語論(資料編)』むぎ書房
- 1984 『ことばの研究・序説』むぎ書房
- ・奥津敬一郎 1983 『「ボクハウナギダ」の文法』くろしお出版
- ・奥津敬一郎・沼田善子・杉本武 1978 『いわゆる日本語助詞の研究』凡人社
- ・PROKOPOVICH, N.N. & DERIBAD, L.A. & PROKOPOVICH, E.N. 1975 "Imennoe iglagol' naeuprvlenie v sovremennom russkom jazyke" Moskva
- ・佐治圭三 1984 「類義表現分析の一方法——目的を表す言い方を例として——」『金田一春彦博士古稀記念論文集2』三省堂
- ・阪倉篤義 1983 『改稿日本文法の話第2版』教育出版
- ・阪田雪子・遠藤織枝・にほんごの会編 1995 『日本語を学ぶ人の辞典』新潮出版
- ・佐久間鼎 1967 『日本的表現の言語科学』厚生社
- ・沢崎浩平 1983 「時の表現あるいは時と表現」中村明編『日本語のレトリック』筑摩書房
- ・青年文化協会 1942 『日本語練習用——日本語基本文型』
- ・千石 喬 1976 「VALENZと ANAPHORISCHE PRONOMINA ——日独語対照記述の立場から——」『外国語科研究紀要ドイツ語学文学論文集[24] 1』東京大学教養学部外国語科
- ・沈陽・鄭定欧編 1995 『現代漢語配価語法研究』北京大学出版社
- ・柴谷正良 1978 『日本語の分析』大修館書店
- ・柴田武編 1976 『ことばの意味I——辞書にかいていなこと』平凡社

- 1979『ことばの意味2——辞書にかいていなこと』平凡社
- ・SHIROKOVA, L.I.1976 “Ustojchivye slovosochetanija russkogo jazyka” Moskva
  - ・城田 俊 1991『ことばの縁——構造語彙論の試み』リベルタ出版
  - ・SHUMACHER, Helmut 1986 “Verben in Feldern Valenzwörterbuch zur Syntax und Semantik deutscher Verben” Walter de Gruyter
  - ・曾我典我 1984「日本語の談話における時制と相について」『言語』4月号、大修館
  - ・宋文軍編 1987『現代日漢大詞典』中国商務印書館・日本小学館
  - ・須賀一好・早津恵美子編 1995『日本語研究資料集【第1期第8巻】動詞の自他』ひつじ書房
  - ・鈴木重幸 1972『日本語文法・形態論』むぎ書房
  - ・高田 誠 1978「格の表現形式 ドイツ語」『講座日本語学10』明治書院
  - ・高橋太郎 1979「連体動詞句と名詞のかかわりあいについての序説」『言語の研究』むぎ書房
- 1985『現代日本語動詞のアスペクトとテンス』秀英出版
- ・高橋太郎編 1997『日本語の文法』正文社
  - ・竹林滋・千野栄一・東信行編 1992『世界の辞書』
  - ・滝浦静雄 1990『時間』岩波新書
  - ・陳 明玉 1983『提題助詞「は」の研究——「は」の原形を求める』台湾鴻儒堂  
1988『判断・指定を表す語』台湾鴻儒堂
  - ・湯 廷池 1989『漢語詞法句法統集』台湾学生書局  
1992a『漢語詞法句法三集』台湾学生書局  
1992b『漢語詞法句法四集』台湾学生書局  
1994『漢語詞法句法四集』台湾学生書局
  - ・寺村秀夫 1977「連体修飾のシンタクスと意味——その一」『日本語・日本文化 No.6』  
1982『日本語のシンタクスと意味Ⅰ巻』くろしお出版  
1984『日本語のシンタクスと意味Ⅱ巻』くろしお出版  
1991『日本語のシンタクスと意味Ⅲ巻』くろしお出版
  - ・TESNIÈRE, Lucien 1959 “Eléments de syntaxe structurale” Klincksieck, Paris
  - ・趙 順文 1985「関係節の一考察言語過程説の観点から」『せせらぎ5』台湾東吳  
大学日本語文学系

- 1986a 「工業日本語の研究ノート」『せせらぎ6』台湾東呉大学日本語文学系
- 1986b 「日本語動詞の活用及び分類法の一考察」『電気工程学報 23』台湾台北工業専門学校電気工程学会
- 1986c 「結合価文法の研究(1)——石綿敏雄・荻野孝野の日本語用言結合価表を批判して」『東呉外語学報2』台湾東呉大学外国語文學院
- 1986d 「関係節時制の問題点——形容詞かコピュラの主語を修飾する場合」『日本語学』7月号、明治書院
- 1988 「『から』と『ので』——永野説を改釈する」『日本語学』7月号、明治書院
- 1989a 『『ので』の研究』台湾建強出版社
- 1989b 「国語辞書に見る『もので』の記述」『吉沢典男教授追悼論文集』東京外国語大学音声学研究室
- 1989c 「結合価文法から見たもう一つの必須成分」『東呉日本語教育5』台湾東呉大学日本語文学系
- 1990a 「『から』と『ので』——永野説を改釈する(続)」『東呉外語学報5』台湾東呉大学外国語文學院
- 1990b 「結合価文法から見た動詞の三つの必須成分」『東呉外語学報6』台湾東呉大学外国語文學院
- 1990c 「動詞結合価の記述と分析への試案」『東呉日本語教育 13』台湾東呉大学日本語文学系
- 1991a 「『現代日漢大詞典』の動詞価の記述と分析」『台湾日本語文研究会論文集2』台湾日本語文研究会
- 1991b 「従属節表現の日台比較」『東呉日本語教育 14』台湾東呉大学日本語文学系
- 1991c 「動詞価成分の多様性」『東呉日本語教育 14』台湾東呉大学日本語文学系
- 1991d 「用例から見た助詞の連絡現象」『日本語教育国際セミナー論文集』中国華中理工大学
- 1992a 「五十音図でわかる動詞の分類と活用」『国立政治大學学報 65』台湾国立政治大學

- 1992b 「長文の階段図分析法」『台湾日本語研究会論文集3』台湾日本語研究会
- 1992c 「科学技術日本語の文型(上)」『からまつ2』台湾国立政治大學東方語文学系
- 1993a 「科学技術日本語の文型(下)」『からまつ3』台湾国立政治大學東方語文学系
- 1993b 「日本語の三つのテンスの語用論」『台湾語文学報4』台湾中華民国日本語学会
- 1993c 「助動詞による動詞の分類法」『台湾日本語文学報5』台湾中華民国日本語学会
- 1993d 「韓文長句階梯図分析法」『韓国学報 12』台湾中華民国韓国研究会
- 1993e 「名詞節中の名詞句の主題化」『国立政治大學学報 67』台湾国立政治大學
- 1993f 「動詞項の分析」『日語教学国際研究会論文集』台湾東吳大学
- 1993g 『日文長句分析——新聞日語語法』台湾旺文社
- 1993h 『科技日文』台湾旺文社
- 1994a 「新聞日本語の見出しの語法」『国立政治大學学報 68』台湾国立政治大學
- 1994b 「修正結合価文法の文構造」『国立政治大學学報 69』台湾国立政治大學
- 1994c 「形式副詞『として』の一考察」『台湾日本語教育論文集創刊号』台湾中華民国日語教育学会
- 1994d 「必須成分の階層性」『台湾日本語教育論文集創刊号』台湾中華民国日語教育学会
- 1994e 「依拠結合価語法的錯誤分析」『台湾日本語文学報5』台湾中華民国日本語学会
- 1994f 「放送日本語の語法」『日中言語文化比較研究3』台湾日中言語文化比較研究会
- 1994g 『日文動詞句型解析(上)』台湾旺文社

- 1994h 『日文動詞句型解析(下)』台湾旺文社
- 1995a 『日語語法論集』台湾立昌出版社
- 1995b 「韓語閱讀的認知原則」『韓国学報 13』台湾中華民国韓国研究学会
- 1995c 「形式副詞としての『など』の用法」『国立政治大學学報 70』台湾国立政治大學
- 1995d 「『て』で始まる三節複文の一考察」『国立政治大學学報 71』台湾国立政治大學
- 1995e 「名詞型接尾語の一考察」『からまつ5』台湾国立政治大學東方語文学系
- 1995f 「複文の行列式分析法」『台湾日本語文学報 7』台湾中華民国日本語文学会
- 1995g 「『動詞価の研究』一書中所用文字的語法問題」『台湾日本語文学報 8』台湾中華民国日本語文学会
- 1995h 「『台湾化』の日本語読解文法」『日中文化 18』台湾中国文化大學
- 1995i 「読点の打ち方の二原則」『国際化時代的日語教育論文集』台湾淡江大學・中華民国日語教育学会
- 1995j 「新聞日本語の構造シラバス」『国際化時代的日語教育論文集』台湾淡江大學・中華民国日語教育学会
- 1996a 『日語語法統集』台湾立昌出版社
- 1996b 「“理由”を表す副詞節の一考察」『国立政治大學学報 72』台湾国立政治大學
- 1996c 「日語篇章分析前的句法結構研究」『東方学報5』台湾国立政治大學東方語文学系
- 1996d 「日語句法の再構築」『東方学報5』台湾国立政治大學東方語文学系
- 1996e 「日文長句分析三論」『台湾日本語文学報9』台湾中華民国日本語文学会
- 1996f 「日語副詞子句的分類与描述」『国立政治大學学報 73』台湾国立政治大學
- 1996g 「日語動詞詞尾的形式与後接的表現」『台湾日本語教育論文集4』台湾中華民国日語教育学会

- 1997a 『日語語法三集』台湾立昌出版社
- 1997b 『大學用書 日語語法』台湾国立編訳館
- ・時枝誠記 1950 『日本文法 口語篇』岩波書店
- ・東京外国語大学外国語学部付属日本語学校編 1979 『日本語Ⅱ』
- ・富盛伸夫 1989 「語彙論」崎山理編『講座日本語と日本語教育第 11 卷 言語学要説 (上)』明治書院
- ・角田大作 1983 『世界の言語と日本語』くろしお出版
- ・湯沢幸吉郎 1937 『日本語表現文典』国際文化振興会
- ・VINOGRADOV, V. V. 1954 'Vvedenie (序論 1-26)' "Akademija nauk SSSR Institut jazykoznanija Grammatika russkogo jazyka Tom II, Sintaksis, Cast' pervaja" Moskva (菅野裕臣訳『東京外国語大学講義資料』未公刊)
- ・渡辺 実 1971 『国語構文論』塙書房
- ・WELKE, K. M. 1988 "Einführung in die Valenz und Kasus-theorie" Leipzig
- ・山口 巖 1995 『類型学序説』京都大学学術出版会
- ・山下秀雄 1986 『日本のことばとこころ』講談社
- ・安井泉編 1992 『グラマー・テキスト・レトリック』くろしお出版
- ・吉田金彦 1971 『現代語助動詞の史的研究』明治書院
- ・吉川千鶴子 1995 『日英比較 動詞の文法』
- ・在間 進 1990 「ドイツ語の動詞と統語構造」『文法と意味の間』くろしお出版  
1992 『<詳解>ドイツ語文法』大修館書店  
1994a 「ドイツ語における結合価研究の功罪」『言語』4月号、大修館書店  
1994b 「統語構造の意味機能」千石喬・川島淳夫・新田春夫編『ドイツ語学  
研究2』クロノス  
1995 「ドイツ語の文の『生成メカニズム』について——言語研究における個  
別言語性——」『東京外国語大学論集51号』
- ・張寿康・林杏光編 1992 『現代漢語実詞搭配詞典』中国商務印書店館
- ・中文詞知識庫小組編 1989 『国語的詞類分析——修訂版』台湾中央研究院計算中心